

JDDNET 体験ワークショップ2014

ワークショップ受講料：1 コマ 2000円（当日受付にてお支払ください）

【プログラム】

（第2部）13：30～15：30

【F】 会話の発達とその支援について～就学前までの質問－応答関係～ （一般社団法人日本言語聴覚士協会）

対象：支援者、保護者

定員：30名

講師：知念洋美（一般社団法人日本言語聴覚士協会／千葉県千葉リハビリテーションセンター）
東江浩美（JDDNET 理事／一般社団法人日本言語聴覚士協会）

内容： ことばやジェスチャーなどを使ってやりとりしながら相互理解したいのに、何となくしっくりとこない…。ことばはたくさん出ているのに会話が成立しない…。なぜ？といった経験はありませんか。会話のやりとりが成立する、会話を楽しむ、というのは、どんな状態なのでしょう？

このワークショップは、①質問－応答関係や会話の発達を知り、子どもが今いる段階がわかる、②子どもに合った個別のなかかわりをイメージできることを目的としています。会話の初期の発達を知り、目の前にいるお子さんと双方向のなかかわりを楽しみ、会話の力を伸ばす働きかけを、体験しながら考えるワークショップです。

会話の評価には、おもに「質問－応答関係検査」を使用します。発達段階がおおむね2歳から6歳のお子さんを想定してお話する予定です。

保育園や幼稚園、学校などで日頃から子どもの支援に携わる方々、ご家族のみなさん、どうぞご参加ください。昨年のワークショップではじめて開催し、たいへん好評でした。今年は昨年よりも30分長い時間設定となりましたので、昨年の経験を活かしながら、さらにバージョンアップして実施の予定です。

【G】 ストレス解消！ちょっと気になる子の子育て応援講座 (NPO 法人えじそんくらぶ)

対象：保護者

定員：24 名

講師：橋口 亜希子 (JDDNET 副理事長/NPO 法人えじそんくらぶ理事)

内容：「子供も、そしてあなた自身も大切にする」これがストレス解消の第一歩。ちょっと気になる子の子育ては、思うようにならないことばかりで、自分を責めてしまうパパやママが多いんです。でも、自分を責める前にやってほしいことがあるんです。それは今がんばっている自分を認めてあげること。「私がんばっているよね」「辛いよね」「大変だよね」と自分で自分に優しい言葉をかけてあげること、これがストレス解消の基礎になるんです。一生懸命がんばってるけど空回りしてしまう、そんな子育てに役立つコツを、みなさんと一緒に学んでみませんか？

【H】 ABA セラピー体験講座 (NPO 法人つみきの会)

対象：支援者

定員：20 名

講師：藤坂龍司 (JDDNET 理事/NPO 法人つみきの会代表)

内容： 自閉症スペクトラム障害 (ASD) に対して、ABA (応用行動分析) に基づく早期療育が国内外で効果を上げ、注目されている。このワークショップでは ABA 早期療育の基本的なスタイルである DTT (不連続試行法) を中心に、プロンプトや強化の仕方を体験することを目的とする。体験実習は実際に ASD の幼児の協力を得て行う予定だが、体調不良などにより協力が得られなかった場合には、スタッフを子どもに見立てた模擬実習に変更する。

【I】 KD? (こんなとき、どうする?) プロジェクト パネルディスカッション

対象：全ての人

定員：30名

パネラー：発達障害当事者3~4名、 OhToT 専門家メンバー

内容： 発達障害当事者の青少年と、機器開発・研究・普及・販売に携わる専門家（機器展示企業・個人の代表者）が、生活の中で困った時に役立つもの・機器について意見交換する企画。

当事者から述べられるさまざまなエピソードやニーズに対して、専門家は自らの知識や技術で対応し、新たな製品開発や既存の機器の活用のヒントにつながる可能性がある。パネラーは、発達障害当事者3~4名、専門家10名程度を予定している。

また、当日は別会場にて機器展示も行っている。

発達障害児・者の生活に役立つ可能性のある機器を、ローテクからハイテクまで展示し、すべて実際に体験していただく。その場で担当者とインタラクティブな意見交換も可能であるとともに、参加者には”この機器が良かった!”と感じたものに投票してもらい、最後に”機器アカデミー賞”を贈呈する。今現在、15~16件の展示を予定している。

その他、OhToTで研究を進めている「こんなときどうする集」について、これまでのデータに加え、10月以降JDDネットのホームページ上で実施されるアンケート結果も加えた資料を、展示室内に掲示する予定である。